

2021 年度 自己評価公表

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 こうのとり保育園

法人理念

～キリスト教精神による隣人愛～

こうのとり保育園 教育・保育理念

キリスト教の精神を基本理念とし、児童福祉法・児童憲章にのっとり、健康で安全・安心な乳幼児の教育・保育を目指します。

- *愛されて、愛する心を知り、お互いが大切な存在であることを知る。
- *一人ひとりの違いに気づき、お互いを認め合いながら共に主体的に生活する。
- *自己発揮できる感興の中で創造性を育てる。
- *在園・地域の子育て家庭が心豊かな環境で子育てできるように支援する。

こうのとり保育園では、「保育者のための自己評価チェックリスト～保育者の専門性の向上と園内研修の充実のために～」を使い、職員が自己評価を行いました。自己評価の結果から見えてきた、園としての課題を職員間で共有し、教育・保育の質の向上のため次年度の取り組みにつなげていきたいと思ひます。

	自己評価結果・課題
第2章「ねらい」及び「内容」 1、乳児保育に関わるねらい及び内容 2、1歳以上3歳未満児の保育に関わるねらい及び内容 3、保育の実施に関わる配慮事項 (乳児・1歳児以上3歳未満児) 4、3歳児以上の保育に関わるねらい及び内容	<ul style="list-style-type: none">・保育の基礎となる部分を踏まえ、一人ひとりを大切に保育をすることが出来ているとの意見が多かった。子どもの心に寄り添い、ていねいに関わり、心掛けている。子どもたちの様子に合わせた環境設定も出来るようになってきている。今後子どもたちが安心して、自ら遊びを選べる環境を整えていきたい。・コロナ禍でもあるため、地域や社会との関わりが今までのようにいかないことが多く、それをどのように補っていくことが出来るかが課題として挙げられた。コロナ禍でも出来ることを今後も考えていきたい。
第4章 子育て支援 1、園児の保護者に対する子育て支援 2、地域における子育て支援	<ul style="list-style-type: none">・日々の保護者とのやり取りは大切にしている。コロナ禍で懇談会等が開催出来なかったが、個人面談を行ったことや、保護者アプリを通し、子どもの発見や気づきなど園での成長を共有でき、園と家庭とのコミュニケーションを深め、保護者理解につなげることが出来た。・園内に支援センターが併設されているが、コロナ禍のため、交流を図ることは出来ないが、園からのおたより等を掲示することで、情報共有を行うことが出来ている。
全体として	<p>チェックリスト第2章・第4章を重点的にチェックしていった。意識が高い項目や、意識の弱い項目それぞれがあったが、主には意識が弱い項目を重点的に話し合い、意見交換をした。「一人ひとりを丁寧に教育・保育をする」という視点から子どもたちとの関わり、援助の仕方等話し合ったため、それを元に今後もよりよい保育の質の向上を目指していきたい。</p>